

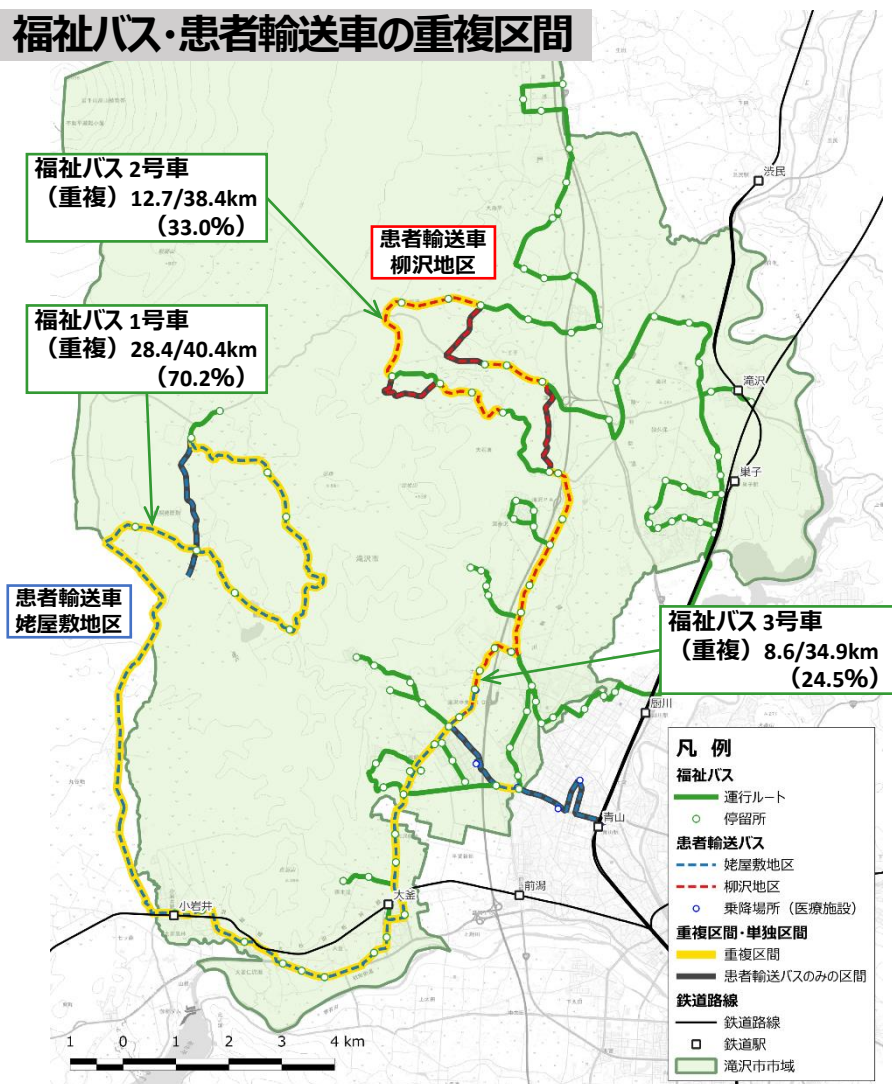
滝沢市コミュニティバス（たきバス）の運行について

令和 8 年 7 月 7 日（火）

第 1 3 回盛岡都市圏地域公共交通会議

① 現行の福祉バス・患者輸送車の問題点

福祉バス・患者輸送車の重複区間



【福祉バスの問題点】

- ・ 利用者数の減少 (R6 : 3,029人、H30比62%)
- ・ 運行ルートが長い (最長1時間34分の所要時間)
- ・ 福祉専用のバスとされている
- ・ 燃料高騰等の理由により、運行経費が増加

【患者輸送車の問題点】

- ・ 利用者数の減少 (R6 : 359人、H30比85%)
- ・ 運行地域外の住民との不公平感
- ・ 直営による運行のため、車両やドライバーの確保が難しくれば運行が困難

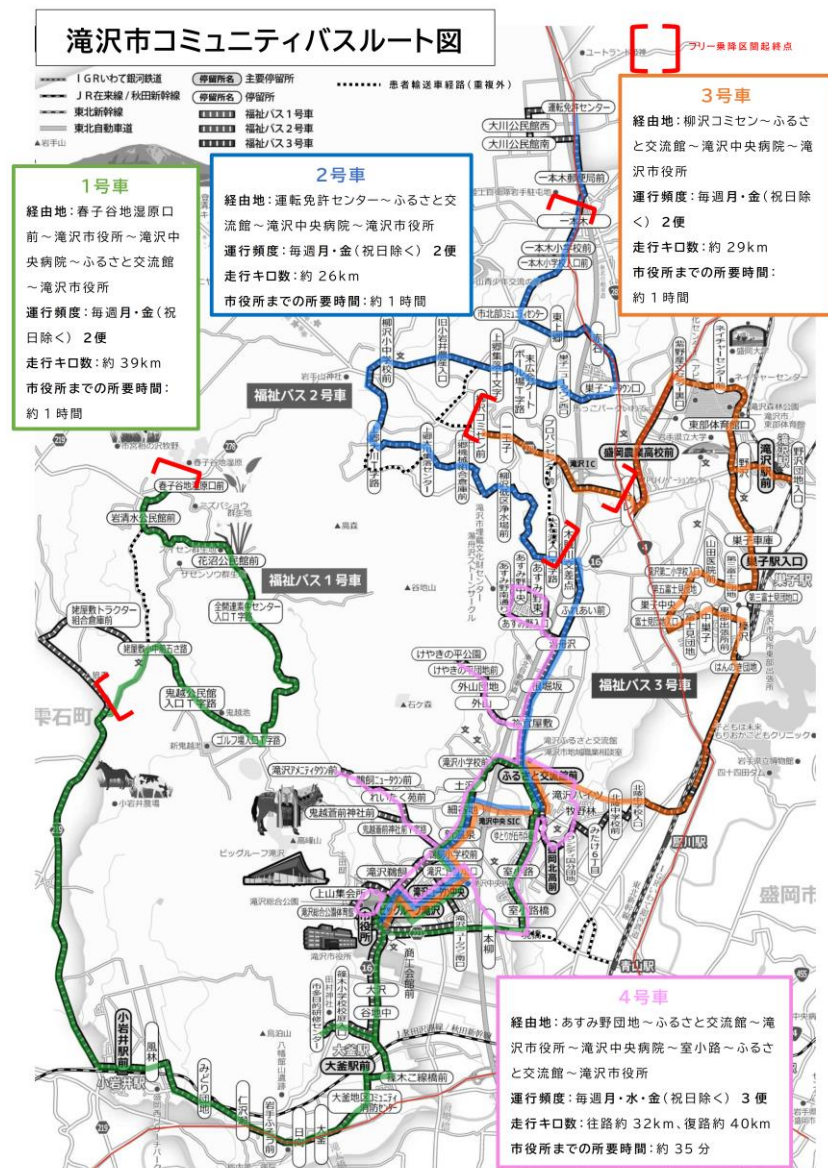
【2つの交通手段による問題点】

- ・ 同じルートを運行し非効率
- ・ 所管課が異なることにより連携が不十分



**福祉バス・患者輸送車の効率的な運行を検討
→新たなコミュニティバスへ再編し、福祉バス・
患者輸送車はR8.9.30で運行終了。**

② 滝沢市コミュニティバス（たきバス）の運行概要



運行開始

令和8年10月1日～実証運行開始
 令和9年4月1日～本格運行開始

運行ルートについて

- ・現行のルートを踏襲し、各地域から滝沢市役所方面への移動を確保
- ・中心拠点商業施設から車で10分圏の近・中距離を商圈とした周辺の住宅地・団地を運行する路線（4号車）を新設
 →市役所までの乗車時間が最長約1時間程度に

運行日・運行本数・ダイヤ

- ・1～3号車：月・金の週2回、1往復（2便）
 陸大学開催時間に合わせたダイヤに設定
- ・4号車：月・水・金曜日の週3回、午前2便・午後1便の3便を設定
1・2・4号車…岩手県交通株式会社
3号車…岩手県北自動車株式会社
 （契約期間：R8.10.1～R9.9.30）

運賃

燃料高騰等の状況を踏まえ、現運賃より値上げを行う。ICカードでの支払いの対応を可能とし、免許返納者に対する割引制度を導入。

③利用促進策について

◎愛称の決定

市民に身近なコミバスとして定着することを目的に、誰もが覚えやすく・呼びやすく、親しみのある愛称を公募し、「たきバス」に決定（R8.4）。現在ロゴを作成中。

◎実証運行期間中（半年間）の運賃を無償に

利用者の経済的・心理的負担を軽減し、幅広い住民の利用を促進することで、潜在的な需要の把握を図るため、運賃を無償とする。これにより、利用実態に関する基礎データを収集し、運行ルートやダイヤ等の妥当性の検証、改善につなげる。

◎案内チラシ・バス停留所案内板の作成

周知用のチラシを作成し、9月初旬に全戸配布を行う。また、新しいバス停留所案内板を作成し、既存の福祉バス停留所との入替作業を行う。

◎イベントでのPR活動

「滝祭(R8.8)」や「ふるさと交流館秋まつり(R8.9)」での周知活動。「出発式」を開催予定。

◎地域主体によるバスツアーの支援

令和6年度から継続して実施している柳沢地域の有志を主体とした「福祉バスツアー」について、対象地域を拡大し、幅広い住民の利用促進を図る（R8.10～）。

◎庁内での横断的な連携

定期的に庁内関係課との情報交換会を開催し、コミュニティバス再編に係る高齢者の移動支援等について議論している。併せて、患者輸送車利用者を対象とした相談会（マイ時刻表の作成支援：R8.7～）や、いきいきサロン等における説明の場（R8.10～）を設けるほか、全庁的な周知活動（R8.8～）への協力を求めることとしている。